

第1学年 生活科 単元構想図 (全12時間)
「みんながにこにこ ステップアップ大きくせん
-ぼく・わたしもできるよ-

単元の目標

- 家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家族のことや、家族のよさ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようになる。
- 自分でできるようになったことを振り返る活動を通して、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活を支えてくれた家族に感謝の気持ちをもつとともに、意欲的に生活することができるようにする。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付いている。	○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭における家族のことや自分でできることなどを考えている。	○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。
○自分でできるようになったことを振り返る活動を通して、成長した自分に気付いている。	○自分でできるようになったことを振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれている家族について考えている。	○自分でできるようになったことを振り返る活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた家族に感謝の気持ちをもって意欲的に生活しようとしている。

小単元のゴールに対するルーブリック

単元のゴール

チャレンジ隊になって、自分や家族をにこにこ笑顔にするために家庭でできそうなことに挑戦し、できるようになったことをこれからも続けよう。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	・家庭にはたくさんの役割があることに気付いている。 ・夏休みにできるようになった自分に気付いている。	・家庭生活を思い起こし、家族のことや自分の行動について想起し、表現している。	・家庭生活について、家族のためという願いをもって振り返ろうとしている。
2	・自分でできることが増える喜びや家庭での自分の役割、家族と交流することのよさや楽しさに気付いている。 ・チャレンジ期間中にできるようになった自分に気付いている。	・家族の存在や役割、家族が喜ぶことを意識して、自分でできそうなことを考えている。	・家族が笑顔になってほしいという願いをもち、進んで取り組もうとしている。
3	・家族の大切さや家族が支え合っていることに気付いている。 ・自分の役割が増え、役割を果たすことができるようになったことに気付いている。	・これからも自分の役割を意識して、続けていきたいことを考えている。 ・さらに家族が笑顔になる活動を考え続けている。	・できるようになったことを今後も続けようとしている。 ・これまで家族にもらったことに感謝している。

他教科等及びSDGsとの関連

国語科「ききたいな、ともだちのはなし」、「しらせたいな、見せたいな」
道徳 勤労・公共の精神「ぼくのしごと」、感謝「みんなだれかに」
〈SDGs〉「17 パートナリーシップで目標を達成する」



日常へ

○家族を笑顔にできる自分に気付き、自分の役割を果たしながら生活する。

- ・大きくせんで、マスターしたお手伝いを続けているよ。
- ・新しくできそうなことを、見付けて挑戦しているよ。



- ・自分でできるようになったことを、続けることで家族のにこにこ笑顔が続くよ。
- ・家族のためになることをいつもしてくれていたことが分かったよ。
- ・これからは、ぼく・わたしもできるから安心して任せてね。

3 これからのにこにこせい

- ① できるようになったことを6年生に報告する。
- ② 自分も家族も笑顔になり、パフォーマンス課題が達成でき、これからも続けようという思いを込めてにこにこメダルを完成させる。(メダルに、頑張りや家族への感謝の気持ちを記す。)
(① 報告会→② 個人思考)：☑️発言

- ・できるようになったことを6年生に報告するとほめてもらえて嬉しかったよ。
- ・家族がにこにこ笑顔になったから、わたしも嬉しくて笑顔になったよ。だからこれからも続けていきたいな。

2 みんながにこにこ大きくせん

- ① 自分や家族が笑顔になりそうなことを考える。⇒家庭で相談
- ② 計画を立てる。(これから挑戦することの「やり方・する時間」を考える。)
〈家庭で1週間実行する〉家族から、仕事のコツを教わったり感想を伝えてもらったりする。
- ③ 家庭で取り組んだことについて、気付いたことやできたときの気持ち、家族の反応を振り返る。
- ④ 振り返ったことを交流し、次にできそうなことを考える。(本時1/12) ⇒家庭で相談
〈家庭で1週間実行する〉家族から、仕事のコツを教わったり感想を伝えてもらったりする。
- ⑤ 家庭で取り組んだことについて、気付いたことやできたときの気持ち、家族の反応を振り返る。
- ⑥ 振り返ったことを交流し、今後の生活の仕方について考える。
- ⑦ 6年生に自分でできるようになったことや継続したい気持ち等を報告カードに表現する。
(① 個人思考→② 体験→③ 個人思考→④ グループ活動→⑤ 個人思考→⑥ 体験→⑦ 個人思考)
：☑️ワークシート、発言

- ・ぼくが、弟のお世話をしたらお母さんはその間料理ができるから助かるかな。
- ・自分で時間割や持ち物を確認することができるようになったらお父さんが喜んでくれたよ。
- ・〇〇くんがやっていた「かたたたき」、わたしのお母さんも喜んでくれそうだからやってみたいな。
- ・アドバイスをしてくれた6年生にできるようになったことを知らせたいな。

1 にこにこさがそう

- ① 自分の1日の生活を振り返る。
- ② 家族の1日の生活を振り返る。自分の生活と比べ、家族の大変さに気付く。パフォーマンス課題をつくる。
- ③ 6年生に家庭生活に関わる経験をインタビューする。
(① 個人思考→② 調べる活動)：☑️ワークシート

- ・家族の1日を振り返って、自分と比べるとたくさん自分たちのためにしてくれていることがあるな。
- ・夏休みに毎日お手伝いに挑戦して、家族が喜んでくれていたのに、やめてしまったからまたやってみようかな。
- ・6年生はいろんなことができているのかな。家では、どんなことをしているのかな、聞いてみたいな。



日常から

○夏休みの生活(お手伝い活動)を振り返る

- ・お母さんと一緒に朝ごはんを作ったよ。
- ・毎日、あさがおに、水をあげたよ。
- ・毎日洗濯たたみをしてたけど、今はやめてしまったよ。



対象(家族)
自分

